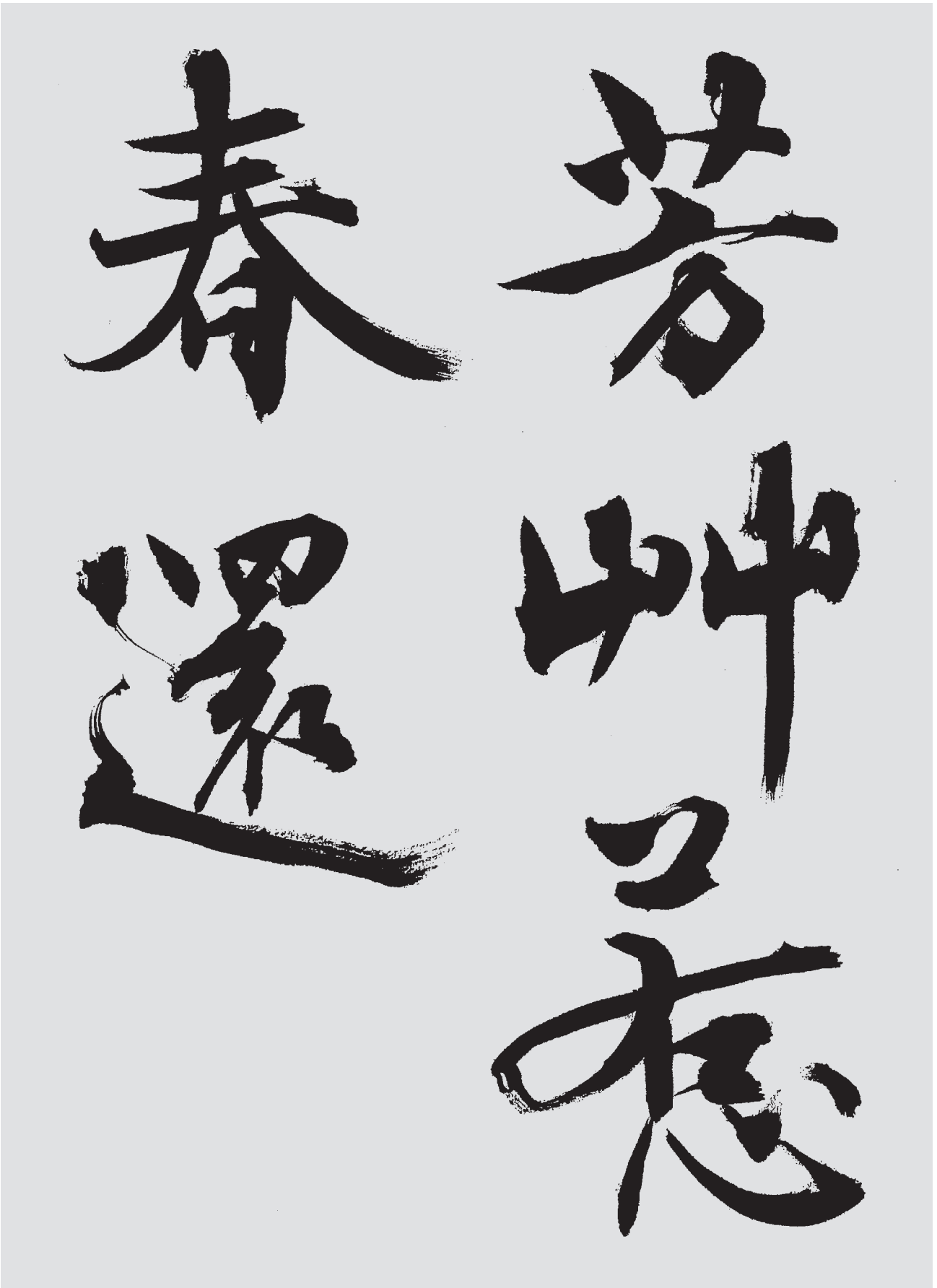


参 考 手 本

芳草春を惹ひいて還る

高 木 聖 雨 先 生

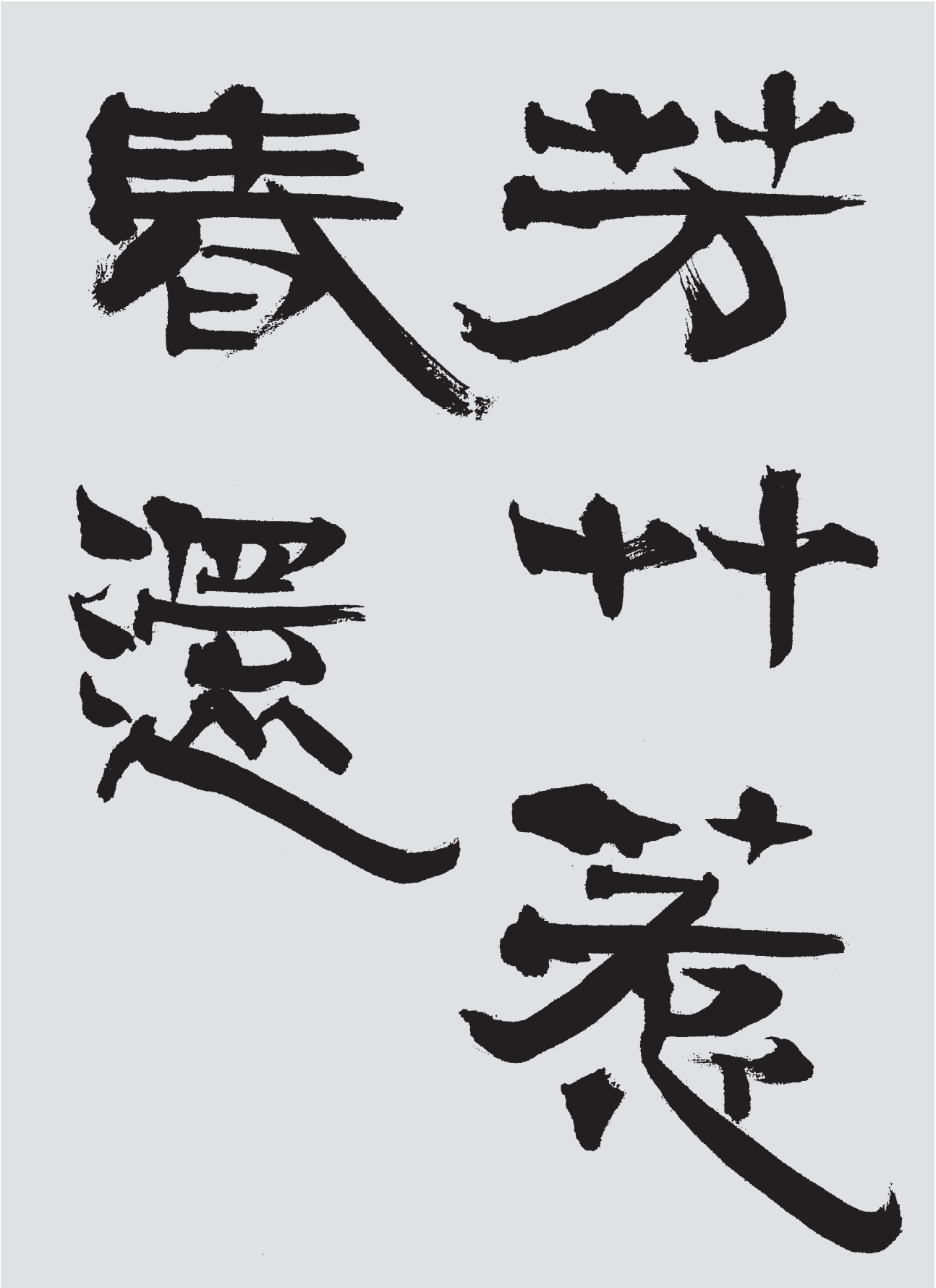


※これは規定課題ではありません。

参 考 手 本

芳草春を惹ひいて還る

高 木 聖 雨 先 生



※これは規定課題ではありません。

条幅かな

条幅規定

C部 (二段以下)

A部 (準五段以上)

B部 (四段～準三段)

あめ  
雨そそぐ  
花橋に風過ぎて山ほととぎす雲に鳴くなり  
（藤原俊成）



前後赤壁賦（元・趙孟頫）

孤鶴橫江東來翅如車輪玄裳縞衣曼然長

浮 乘 清 郷 先 生



道因法師碑（唐・歐陽通）

該洽尤善大乘昔在隨朝英塵久播學徒來請



※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左側下部に添え書きして下さい。

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(5月10日締切)

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)



城長史夏陽

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

金・城・長・史・夏・陽・令

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(5月10日締切)

半紙規定 (二)

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)



謙潤下潺湲

清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書  
〔二級以下〕楷書

謙・  
潤・  
下・  
潺・  
湲

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(5月10日締切)

条幅参考手本

去國三巴遠登樓萬里春傷

心江上客不是故鄉人

翠鶴

田邊翠鶴先生

去國三巴遠 登樓萬里春 傷心江上客 不是故鄉人  
国を去って三巴遠く 楼に登れば万里春なり 傷心江上の客 是れ故郷の人ならず

山田翠阜先生

落日松風起 還家草露稀 雲光侵履跡 山翠拂人衣  
先後履跡心翠拂人衣

落日松風起 還家草露稀 雲光侵履跡 山翠拂人衣  
落日松風起る 家に還れば草露稀なり 雲まの光は履跡に侵いり 山の(草木の)翠は人の衣を払う

本 手 考 参 幅 条



長 沢 豊 雲 先 生

用大撲散邑廻即散用田眉眉 自瀧涉以南至于大沽  
 大散の邑を撲てるを用って廻ち散に即ふるに田を用ってす。眉は瀧より涉り以って南して大沽に至る。

大 越 三 宗 先 生

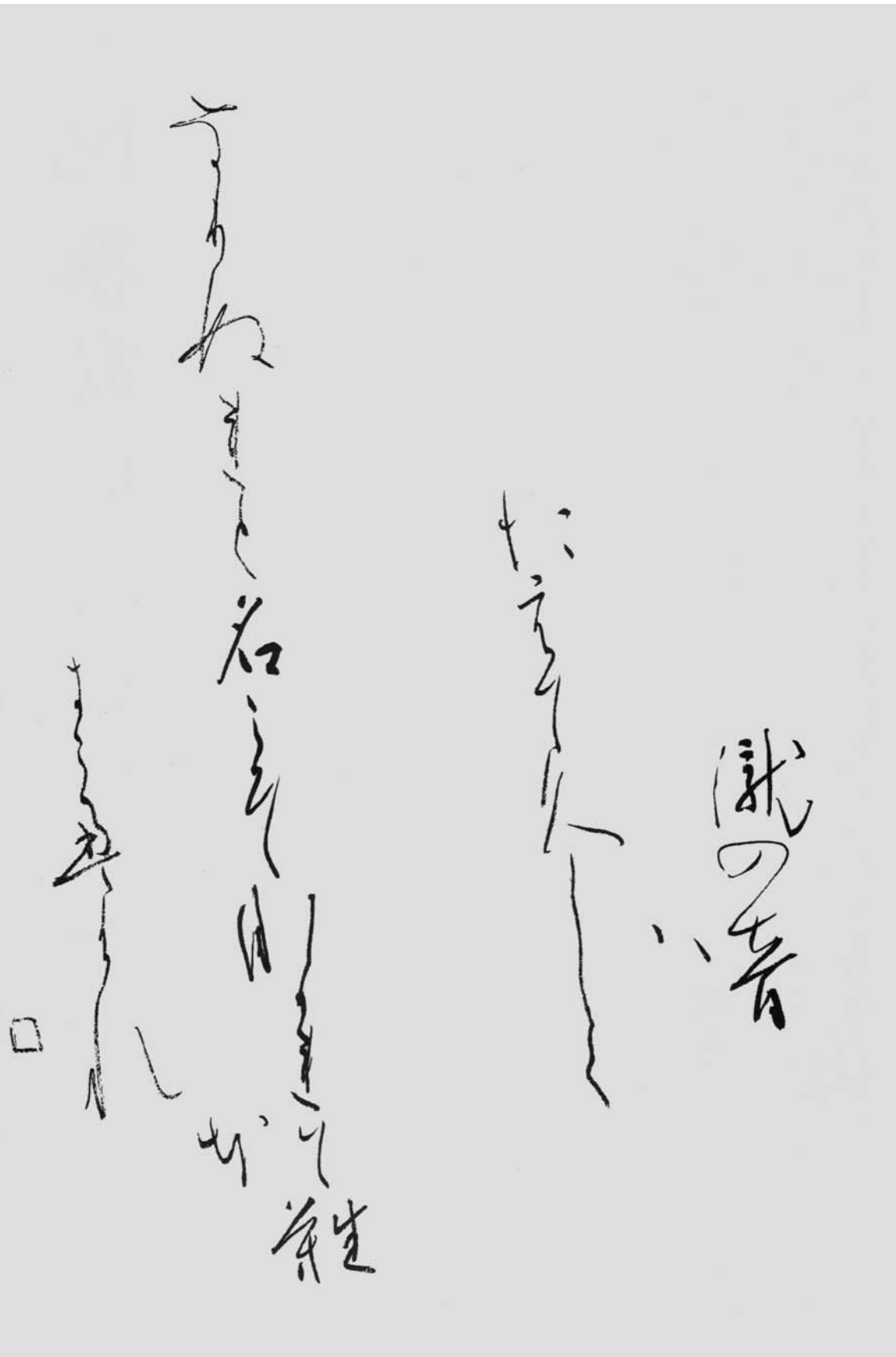


百濟野の萩の古枝に春待つと居りし鶯鳴きにけむかも (山部赤人)

半紙かな（初段以上）

滝たきの音おとはたえて久ひさしくなりぬれど名なこそ流ながれてなほ聞きえけれ（藤原公任）

支部名 段 姓 号（鉛筆可）



浮 乗 清 郷 先 生

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。  
※ちらし文字変換は自由

（5月10日締切）



半紙かな (1級～8級)

かげろふやほろ／＼落つる岸の砂 (服部土芳)

支部名 級 姓 号 (鉛筆可)

Handwritten calligraphy of the poem: かげろふやほろ／＼落つる岸の砂

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。  
※ちらしし文字変換は自由

船久保 棠 苑 先生

(5月10日締切)

実用文（準三段以上）

若き人多く道のほどうちとわぶそ、  
 おぼえず彼の麓に到る。山はおくある  
 けしきにして、谷道遙かに松杉黒く蒼  
 したたりて、神月の天々なお空し。  
 十景盡くるは、橋を渡って山門に入る。

支部

長

姓

号

〈書風任意〉

…麓に到る。…谷道遙かに…卯月の天々なお寒し。十景盡くる所、…

奥の細道より

主幹 菅野翠濤

(5月10日締切)

実用文（二段以下）

〈書風任意〉

春爛漫の季節になりました。この度

北日本物産を無事退職いたしました。

今後は長年続けて来た書道と

旅行でも楽しみたいと思います。

支部名

段級

姓

号

大越三宗先生

（5月10日締切）

細 字

※一級〜八級は草書まで。 初段以上は隸書まで。

巧こう陳ちん 品びん 美び  
 巧こう 美び  
 美しく上手なこと。

支	陳	陳	陳	陳
部	品	品	品	品
段	構	構	構	構
	成	成	成	成
	巧	巧	巧	巧
	美	美	美	美
姓	放	放	放	放
	送	送	送	送
	受	受	受	受
号	信	信	信	信

名前は必ず楷書 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

硬筆（初段以上）

国破れて山河あり城は春にして草木深し  
時に感じて花にも涙を濺ぎ別を恨ん  
で鳥にも心を驚かす烽火三月に連なり  
家書万金に抵る白頭搔いて更に短かし  
渾べて簪に勝えざらんと欲す。

支部名

段

姓号

本院定型用紙一枚に書く

※今月は楷書課題です。

青柳江雲先生

（5月10日締切）

硬筆（4級以下）

支部名  
級  
姓  
号

南魚沼市の六万騎山は、知る人ぞ知る  
カタクリの群生地である。

本院定型用紙・たて半分に書く

齊藤 翡翠 流 先生

硬筆（1級～3級）

支部名  
級  
姓  
号

南魚沼市の六万騎山は、知る人ぞ知る  
カタクリの群生地である。

齊藤 翡翠 流 先生

（5月10日締切）

中2用

中3用

支部名

段級

名  
前

癸音 英語の

支部名

段級

名  
前

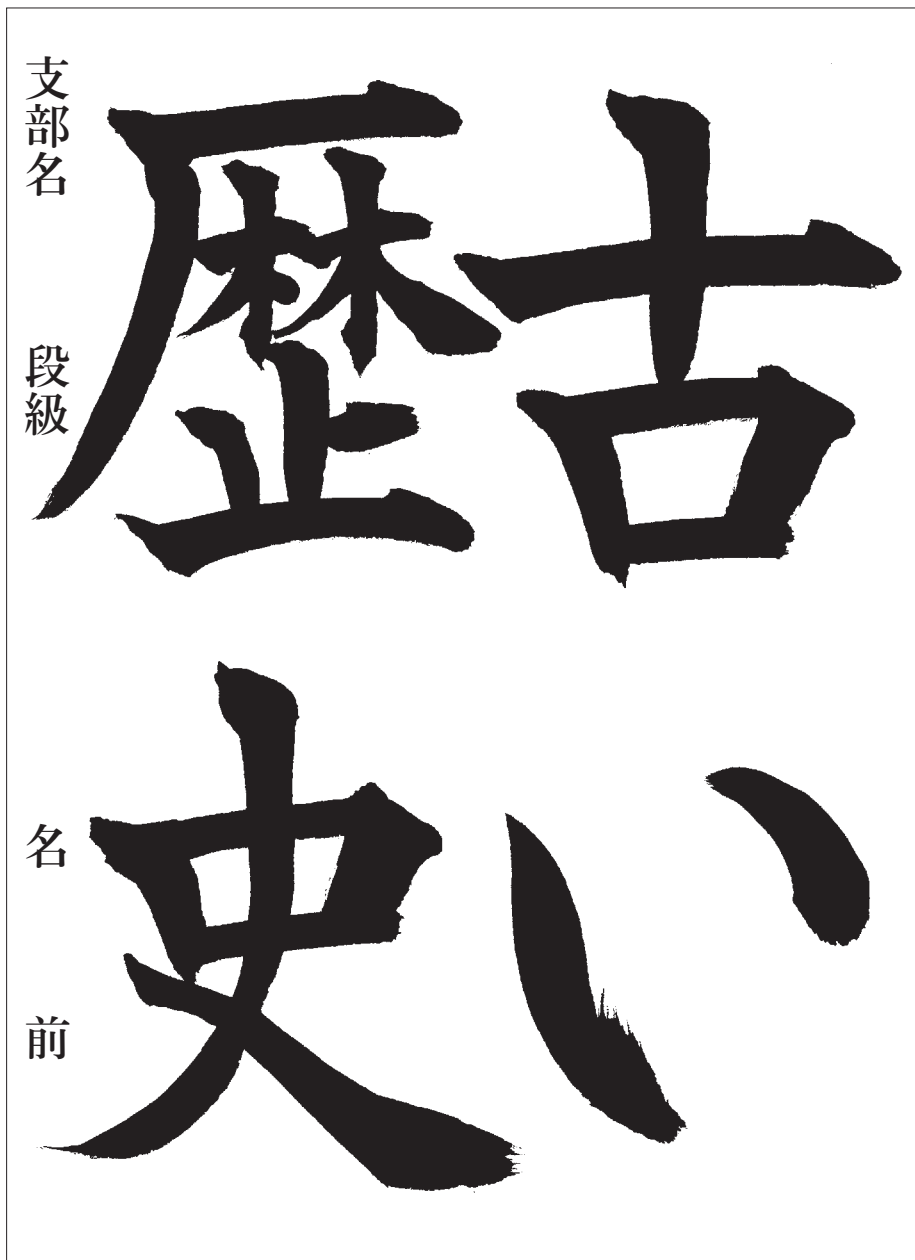
授業 補習の

田邊玉翠先生

田邊玉翠先生

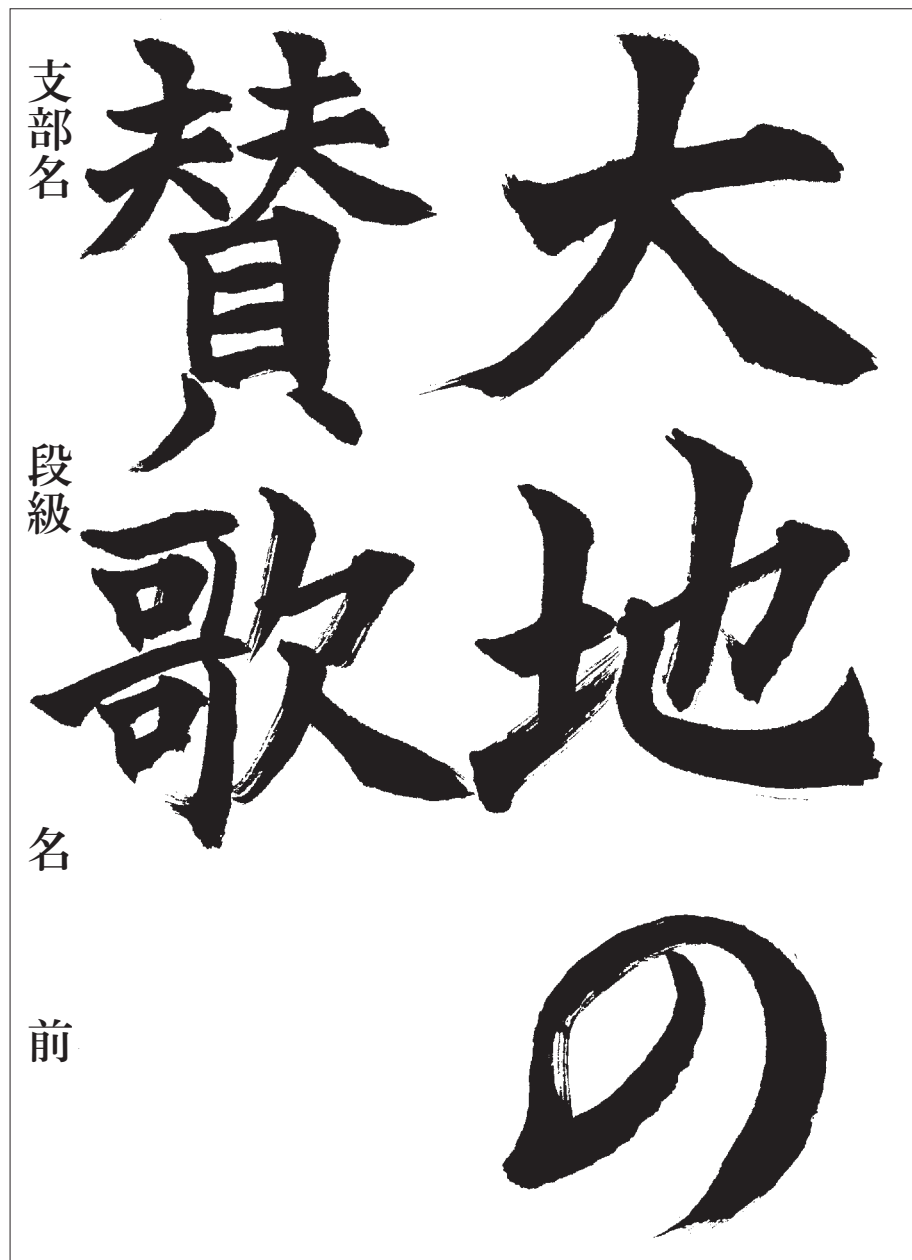
5月10日締切並びに前期昇段級試験課題（5月15日締切）

小6用



朝平霞山先生

中1用



田邊玉翠先生

5月10日締切並びに前期昇段級試験課題（5月15日締切）



小4用

支部名

段級

名前

や 思  
り い

朝平霞山先生

小5用

支部名

段級

名前

ふ 南  
く 風

朝平霞山先生

5月10日締切並びに前期昇段級試験課題（5月15日締切）

小2用

支部名

段級

名  
前

主幹 菅野翠濤

小3用

支部名

段級

名  
前

主幹 菅野翠濤

5月10日締切並びに前期昇段級試験課題（5月15日締切）

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

うま

中 3

人間にとって、自然は  
貴重な資源の宝庫だ。

中 2

街の中の看板は、圧倒  
的に楷書体が多い。

中 1

日本列島には、六千種  
の植物が生育している。

中1～中3

青柳江雲先生

5月10日締切並びに前期昇段級試験課題（5月15日締切）

小1・幼年

さあ、げんきに  
こうへいこう。

小1～小3

小 2

空に白いヒコ  
がうかんでいる。

若月久美子

小 3

小鳥のせえずりが  
てもにぎやかです。

先生

小 4

苦しいことのは  
しいこともある。

小4～小6

小 5

麦畑の上には、春の青  
い空が広がっている。

齊藤 翡流

小 6

四月の不順な天候も、  
五月は安定してくる。

先生

5月10日締切並びに前期昇段級試験課題 (5月15日締切)

小学部小筆課題

支部名

段級

名

前

森林の鳥

小川の魚

主幹菅野翠濤

季語「ひばり」

春の海岸での句。松林に風が吹いたかと思うと、今まで囀っていた雲雀の声が聞こえなくなった、というのである。淡い感傷が表われた句。

船久保棠苑先生

中学部かな課題

支部名

段級

名

前

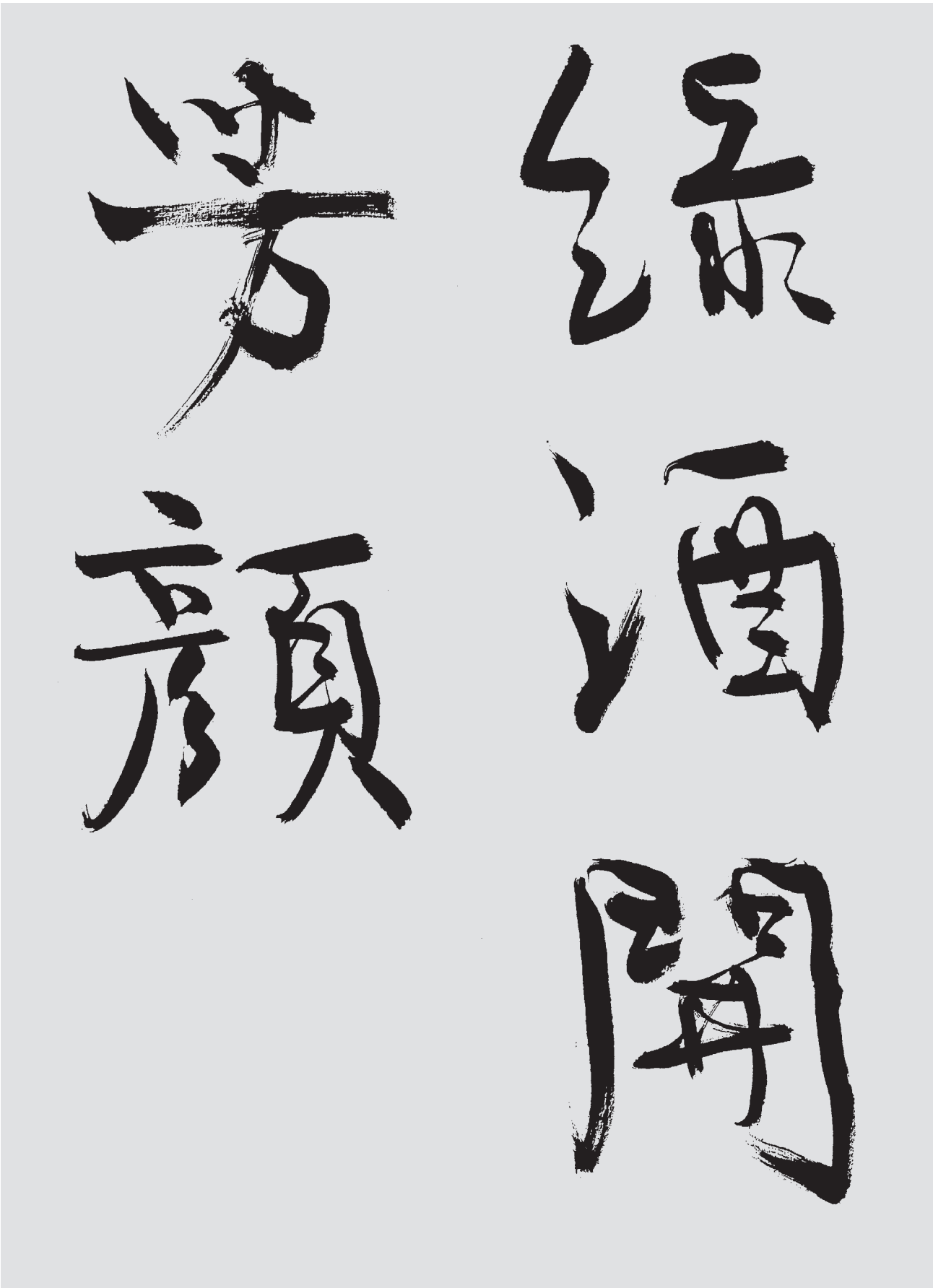
鳴くひばり

松風なまそ 落ちに  
けむ

5月10日締切並びに前期昇段級試験課題（5月15日締切）

参 考 手 本

緑酒  
芳顔を開く



成瀬映山先生